

生命有機化学・生化学セミナー

Methylation Biology — その分子機構と生理学的意義 —



眞貝 洋一 主任研究員
(理化学研究所)



2026年9月18日 (金)
14:55~16:30
フォレストハウスF201

私はこれまで、エピジェネティックな制御がどのようにゲノム情報を統御し、高次の生命現象を調節しているのかに強い関心を持ち、その分子機構の解明と、それぞれの生命現象における生理的意義の理解を目指して研究を進めてきました。特に、ヒストン、ヒストン以外のタンパク質並びにDNAのメチル化に着目し、研究を進めてきました。

本講演では、私たちの研究室におけるメチル化研究の最新の成果を紹介するとともに、この分野に残された重要な課題と、それらの解決に向けた今後の展望について議論したいと思います。

Selected papers

- 1) Shinkai A et al., NAR 2024, PMID: 39142653
- 2) Shimazu T et al., Genes Dev 2023, PMID: 37612136
- 3) Fukuda K et al., NAR 2023, PMID: 37178005

Contact

生命科学部 五月女 宜裕 (内線4351)
E-mail: sohtome@fc.ritsumei.ac.jp

薬学部 梅原 崇史 (内線3756)
E-mail: umet@fc.ritsumei.ac.jp